

アンケート調査結果の概要について

1 目的

本事業は、「第4期宇都宮市障がい福祉サービス計画」の策定にあたり、障がい者の生活実態や障がい福祉サービス等の必要な量とその確保策を検討する上での基礎資料を得ることを目的にアンケート調査を実施した。

2 内容

(1) 障がい福祉サービス等利用者向けアンケート調査

- ア 調査対象 平成26年1月における障がい福祉サービス等の利用者3,266人のうち、男女別、年齢別に偏りが無いよう層化無作為抽出した1,340人
- イ 調査期間 平成26年6月2日(月)～6月13日(金)
- ウ 調査方法 郵送
- エ 調査項目 本人・介護者の状況、施設から地域への移行、日中活動や就労、相談、障がい福祉サービス等の利用状況、成年後見制度など

(2) 障がい福祉サービス等提供事業所向けアンケート調査

- ア 調査対象 平成26年1月時点における障がい福祉サービス等を提供する市内すべての事業所173箇所
- イ 調査期間 平成26年6月2日(月)～6月13日(金)
- ウ 調査方法 郵送
- エ 調査項目 障がい福祉サービス等の提供状況や利用者ニーズの把握、運営上の課題、事業の新設・拡大、施設から地域への移行、就労、サービス等利用計画など

3 回答状況

	調査対象者	回答者数	回答率
利用者向けアンケート調査	1,340人	858人	64.0%
事業所向けアンケート調査	173箇所	123箇所	71.1%

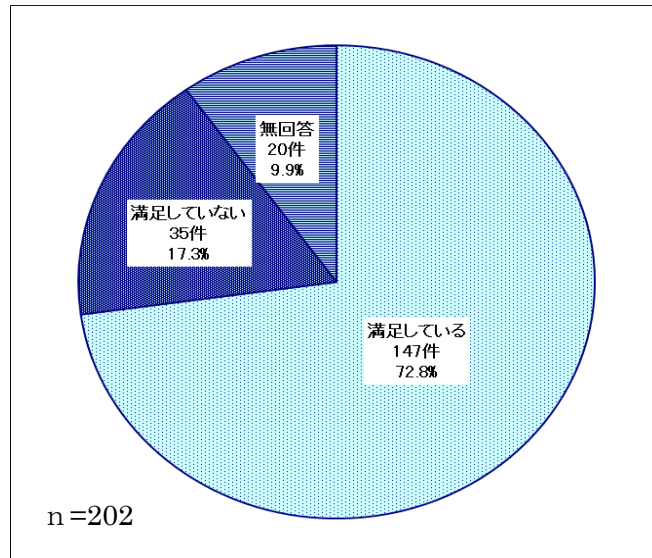
4 結果概要

(1) 障がい福祉サービス等利用者向けアンケート

ア 福祉施設入所者の地域生活への移行

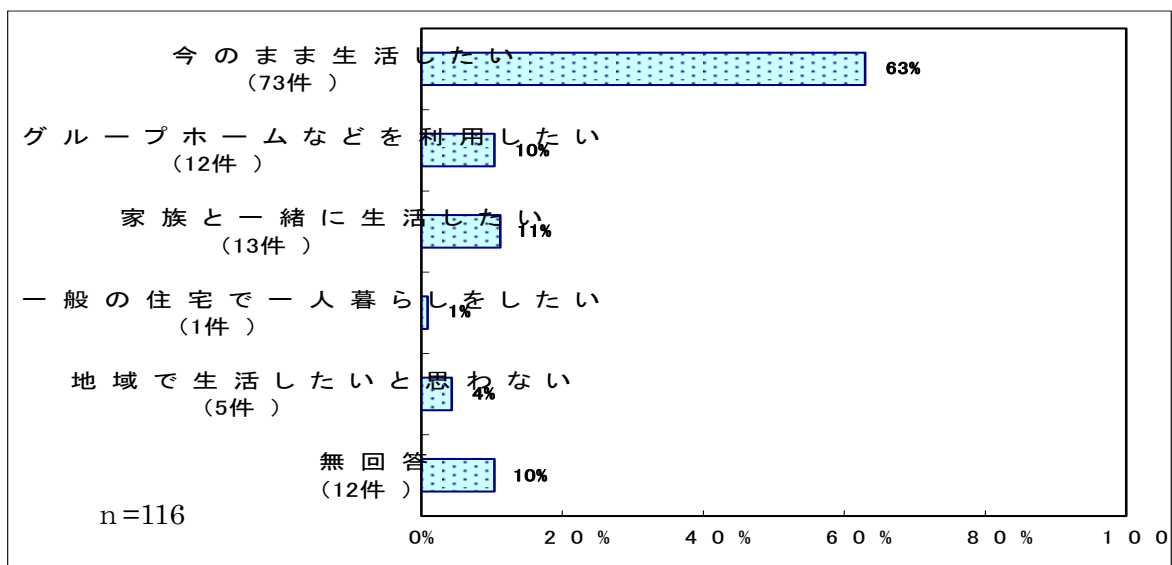
○現在の入所先や入所している施設に満足していますか。

→「満足している」は、約73%。「満足していない」(17.3%)の理由は、「生活のしにくい場所にある」(31.4%)が最も高い。



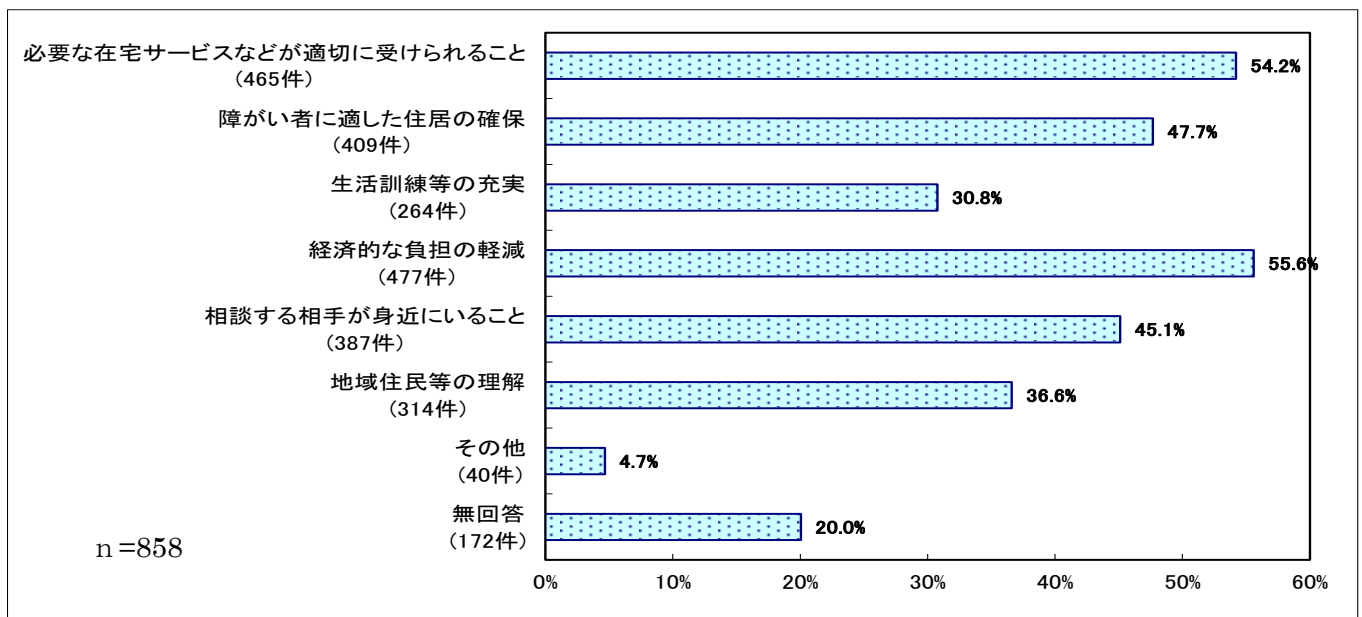
○あなたは将来、入所施設等を退所し、生活の拠点を一般住宅やグループホームに移したり、家庭復帰や単身での生活をしたいと思いますか。

→「今のまま生活したい」(62.9%)が最も高く、次いで「家族と一緒に暮らしたい」(11.2%)となっている。「地域で生活したいと思わない」(4.3%)の理由は、「今入所している施設が設備やスタッフが揃っていて安心」(40%)が高くなっている。



○入所施設等を退所し、生活の拠点を一般住宅やグループホームに移したり、家庭復帰や単身での生活をするためには、どのような支援があればよいと思いますか。(複数回答可)

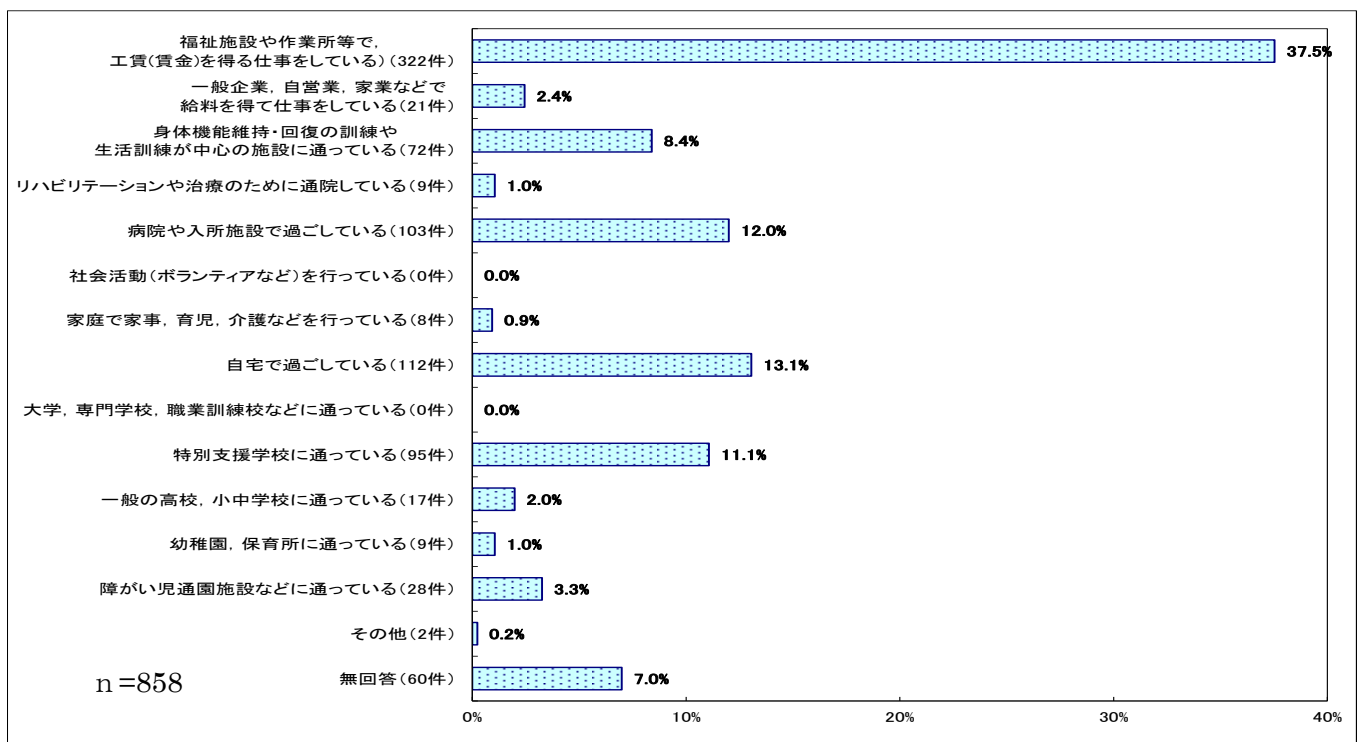
→「経済的な負担の軽減」(55.6%)が最も高く、次いで「必要な在宅サービスなどが適切に受けられること」(54.2%),「障がい者に適した住居の確保」(47.7%)となっている。



イ 福祉施設から一般就労への移行

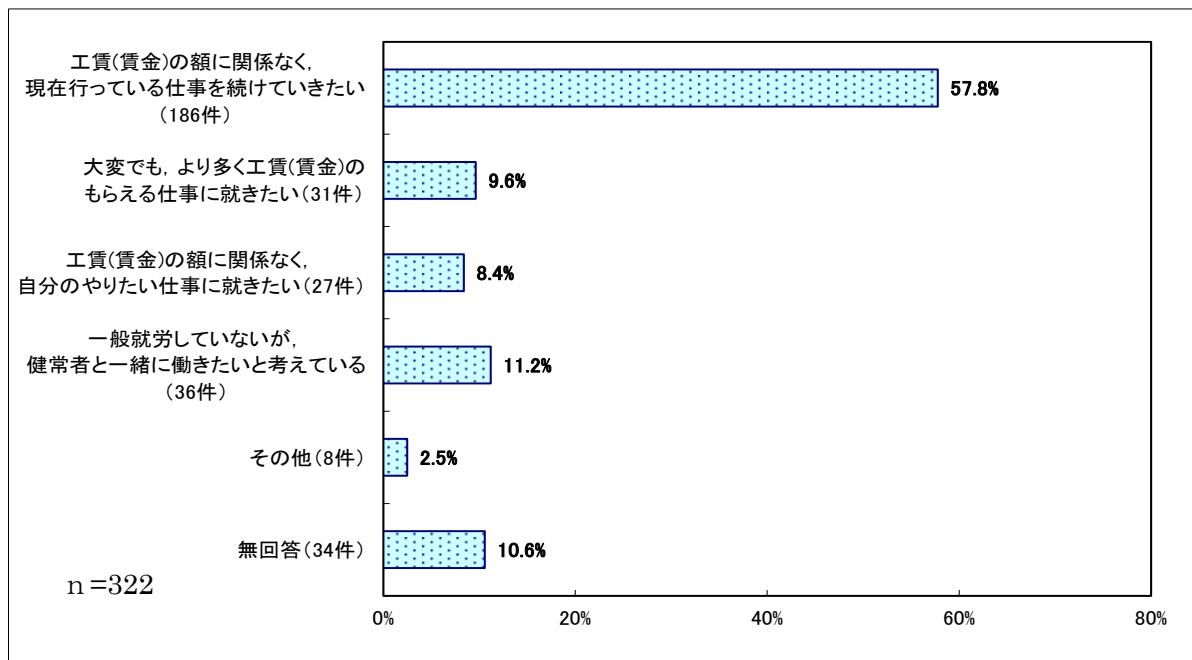
○日中は主にどのように過ごしていますか。

→「福祉施設や作業所等(※就労移行支援, 就労継続支援A型, 就労継続支援B型への通所を含む)で、工賃(賃金)を得る仕事をしている」(37.5%)が最も高く、次いで「自宅で過ごしている」(13.1%)となっている。



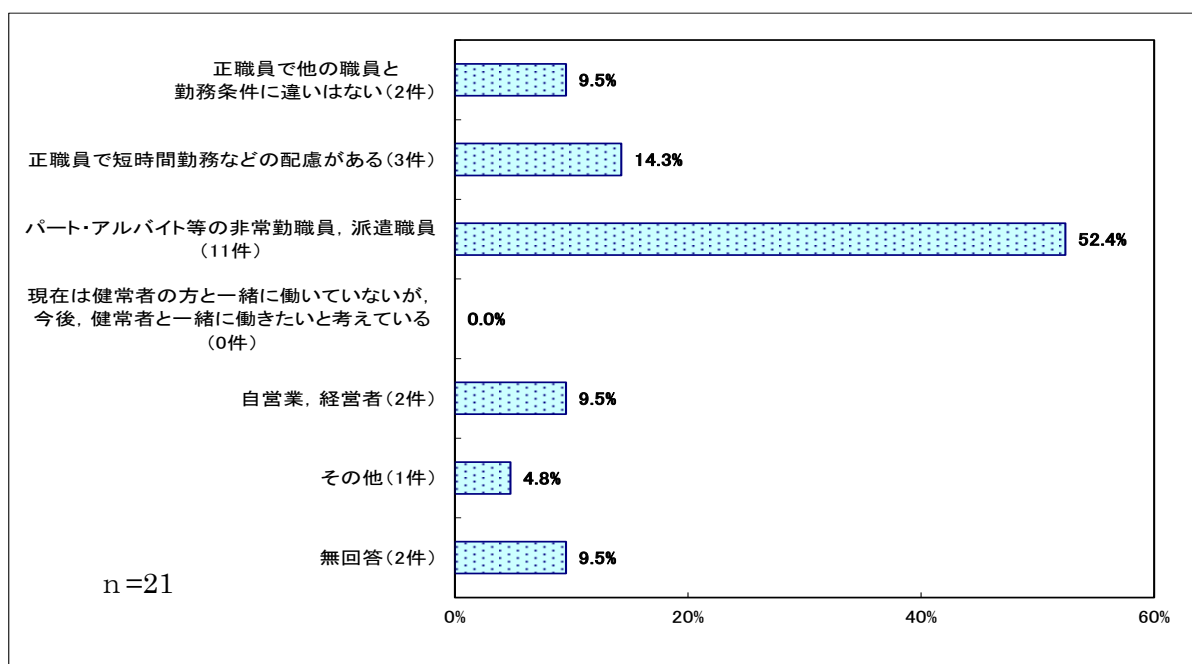
○現在の仕事について、今後どのように続けていきたいですか。（※福祉施設や作業所で働いている方への質問）

→「工賃(賃金)の額に関係なく、現在行っている仕事を続けていきたい」(57.8%)が最も高く、次いで「一般就労していないが、健常者と一緒に働きたいと考えている」(11.2%)となっている。



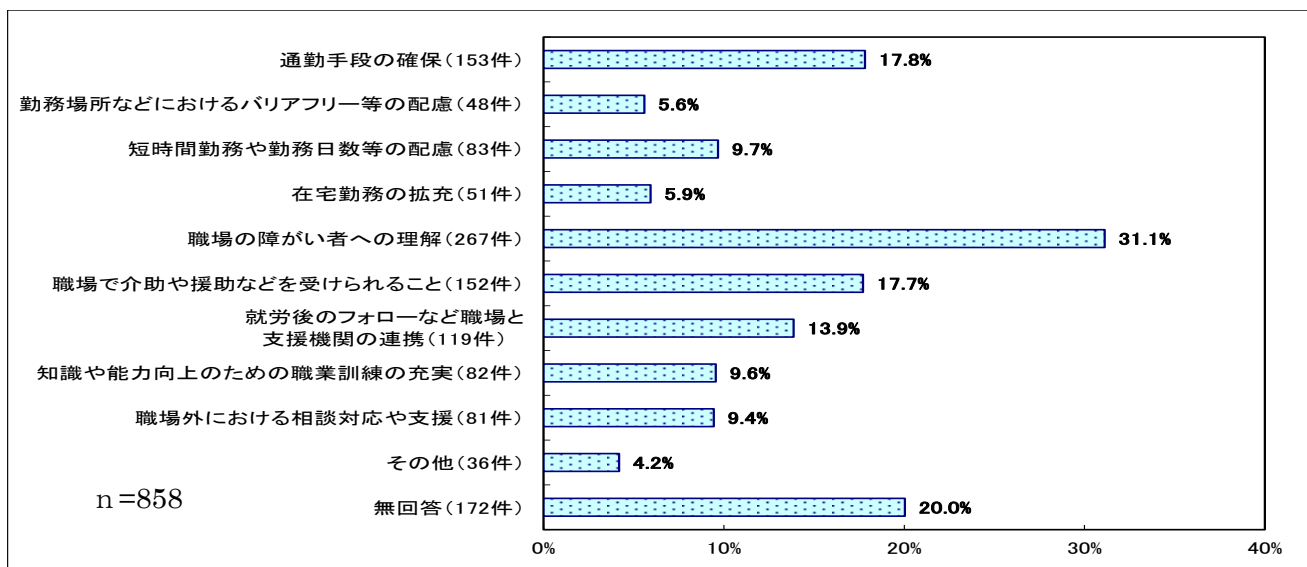
○現在の仕事について、どのような勤務形態で働いていますか。（※一般企業で働いている方への質問）

→「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」(52.4%)が最も高く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件に違いはない」(9.5%)、「自営業、経営者」(9.5%)となっている。



○障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

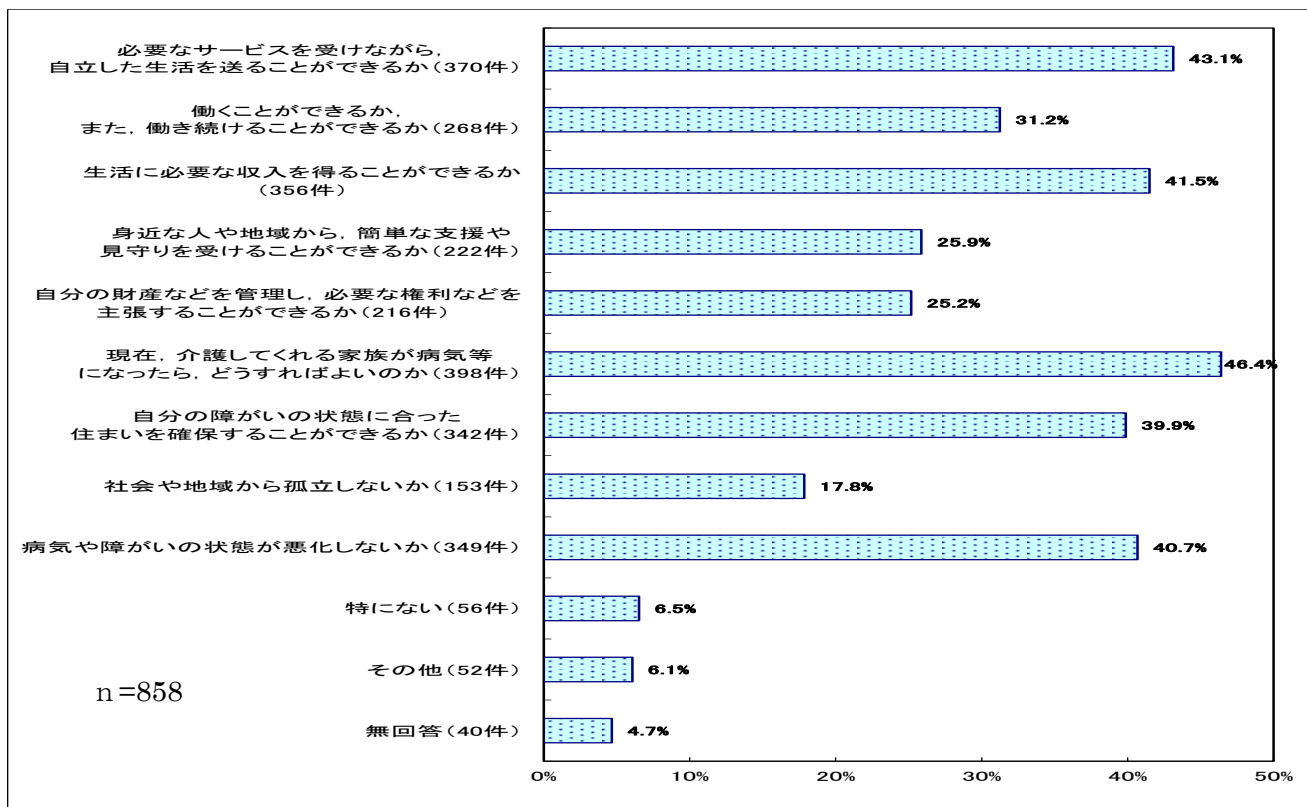
→「職場の障がい者への理解」(31.1%)が最も高く、次いで「通勤手段の確保」(17.8%)となっている。



ウ 相談支援

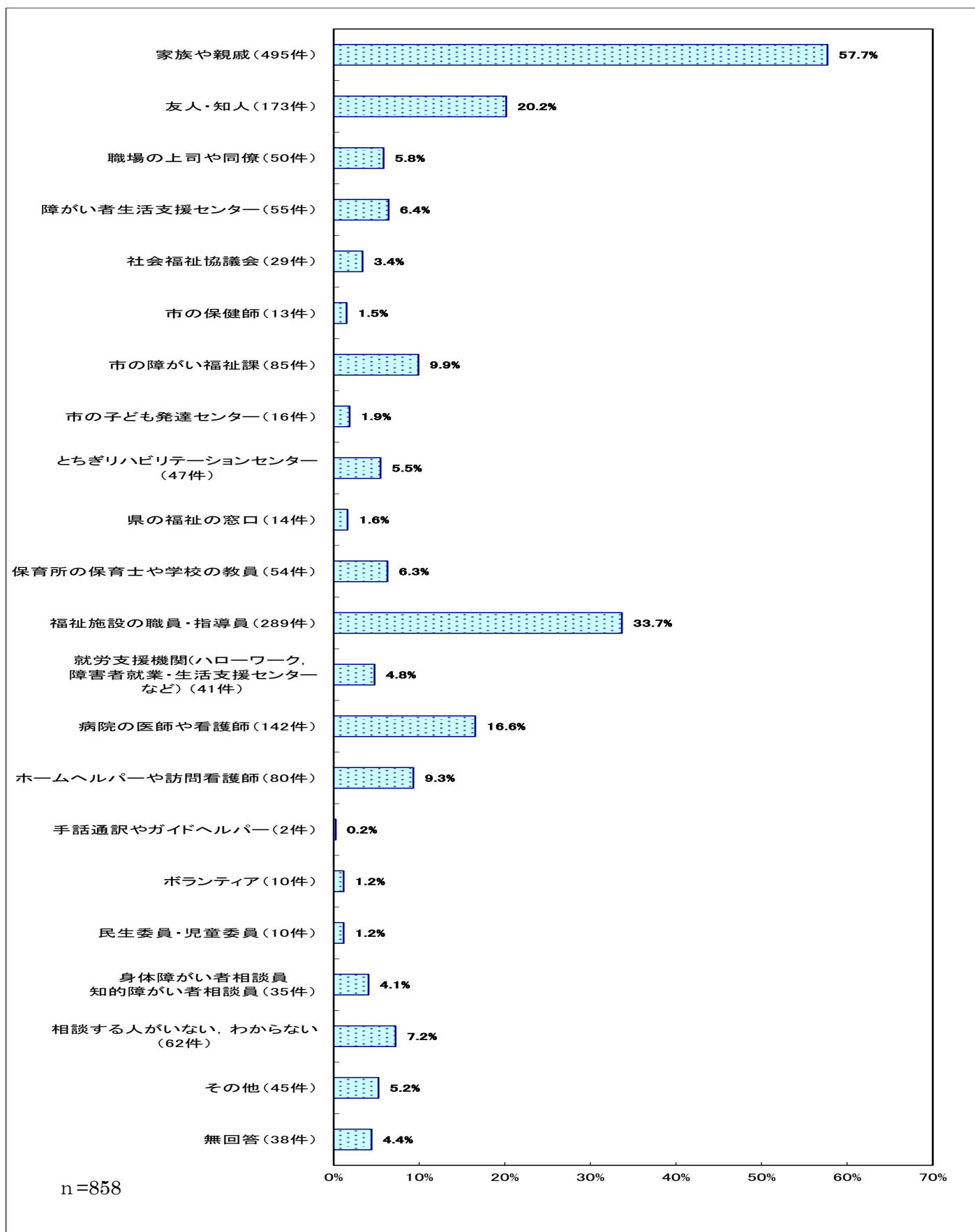
○あなたが将来の生活のことで不安に思っていることは何ですか。(複数回答可)

→「現在、介護してくれる家族が病気等になったら、どうすればよいのか」(46.4%)が最も高く、次いで「必要なサービスを受けながら、自立した生活を送ることができるか」(43.1%)となっている。



○あなたは普段、悩みや困ったことを誰に相談しますか。(複数回答可)

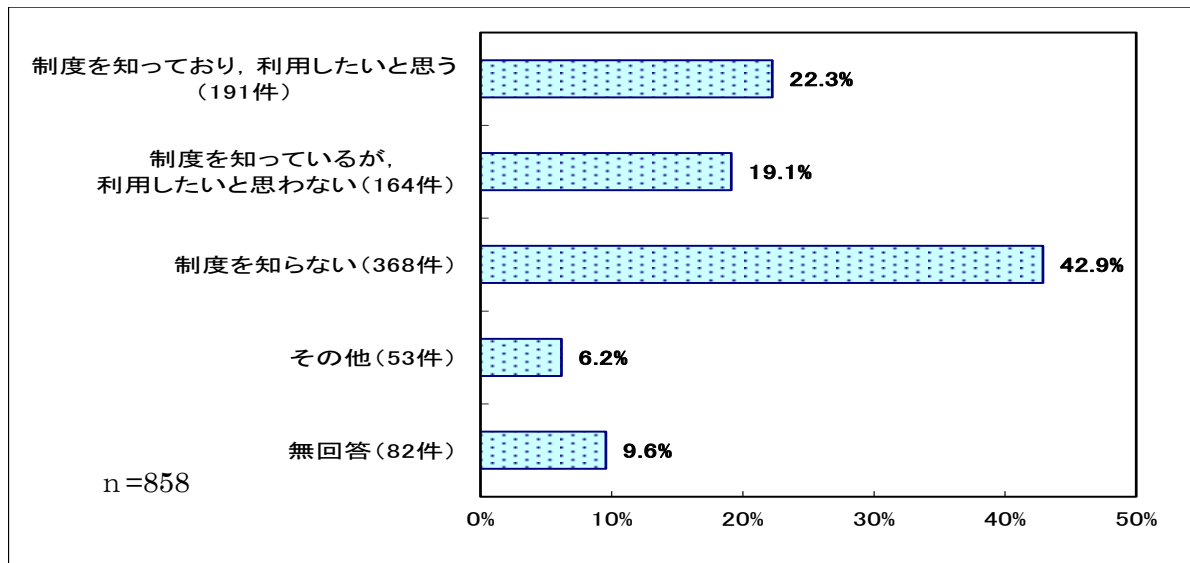
→「家族や親戚」(57.7%) が最も高く、次いで「福祉施設の職員・指導員」(33.7%) となっている。



エ 成年後見制度

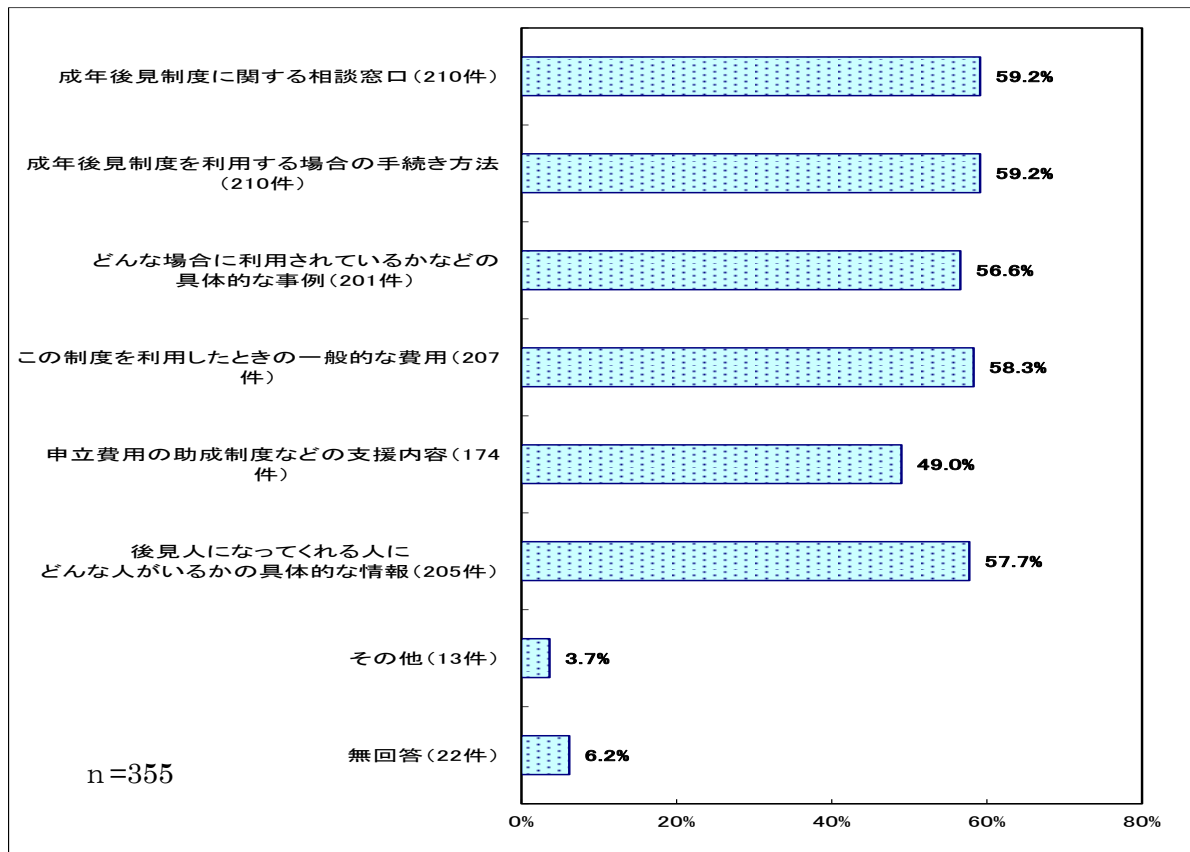
○あなたは成年後見制度を知っていますか。

→「制度を知らない」(42.9%)が最も高く、次いで「制度を知っており、利用したいと思う」(22.3%)となっている。



○成年後見制度に関して、どのような情報が提供されればよいと思いますか。(複数回答可)

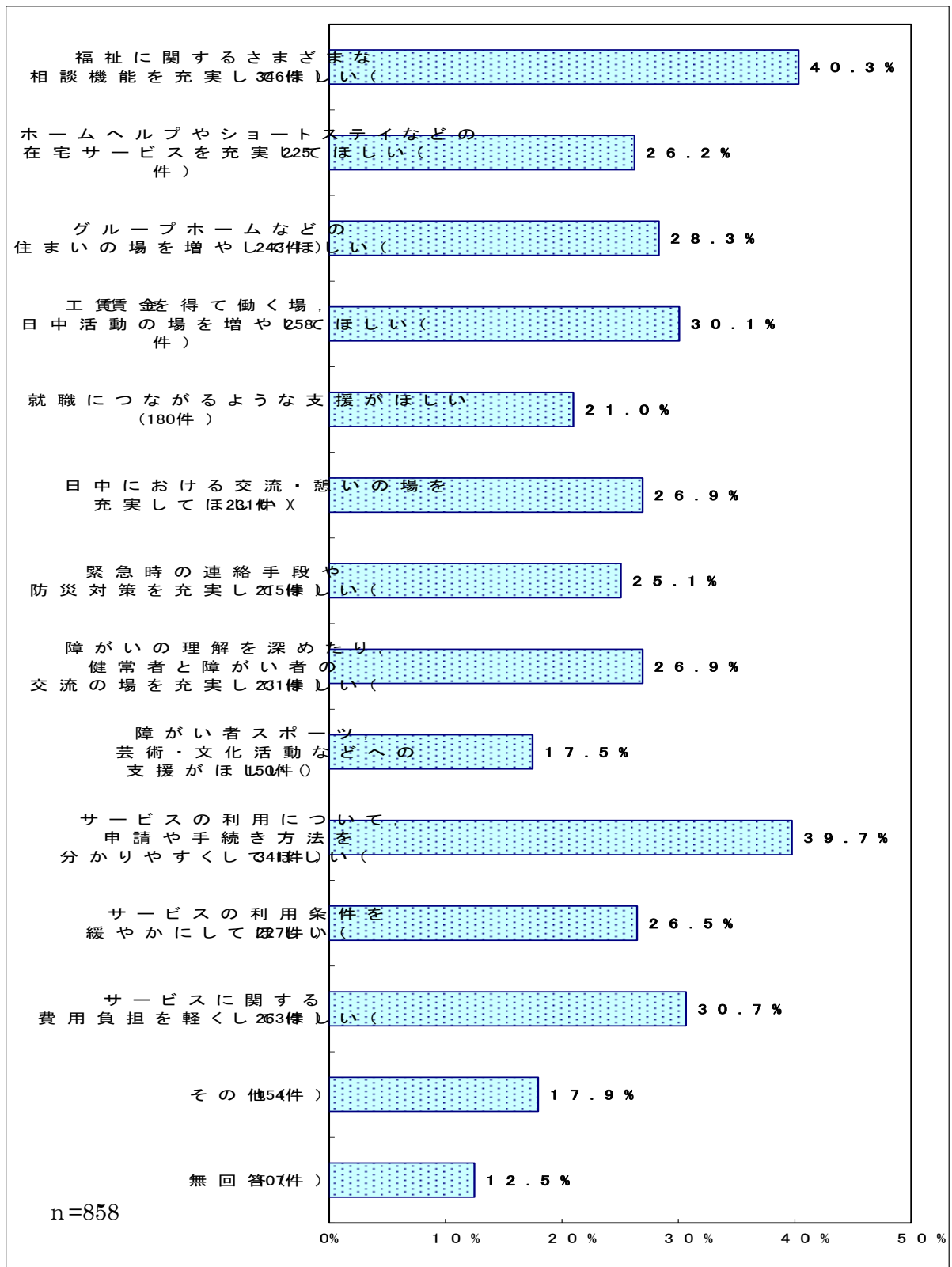
→「成年後見制度に関する相談窓口」(59.2%)、「成年後見制度を利用する場合の手続き方法」(59.2%)が最も高く、次いで「この制度を利用したときの一般的な費用」(58.3%)となっている。



オ 障がい福祉サービス全般

○今後、どのようなサービスを増やしてほしい、充実してほしいと思いますか。(複数回答可)

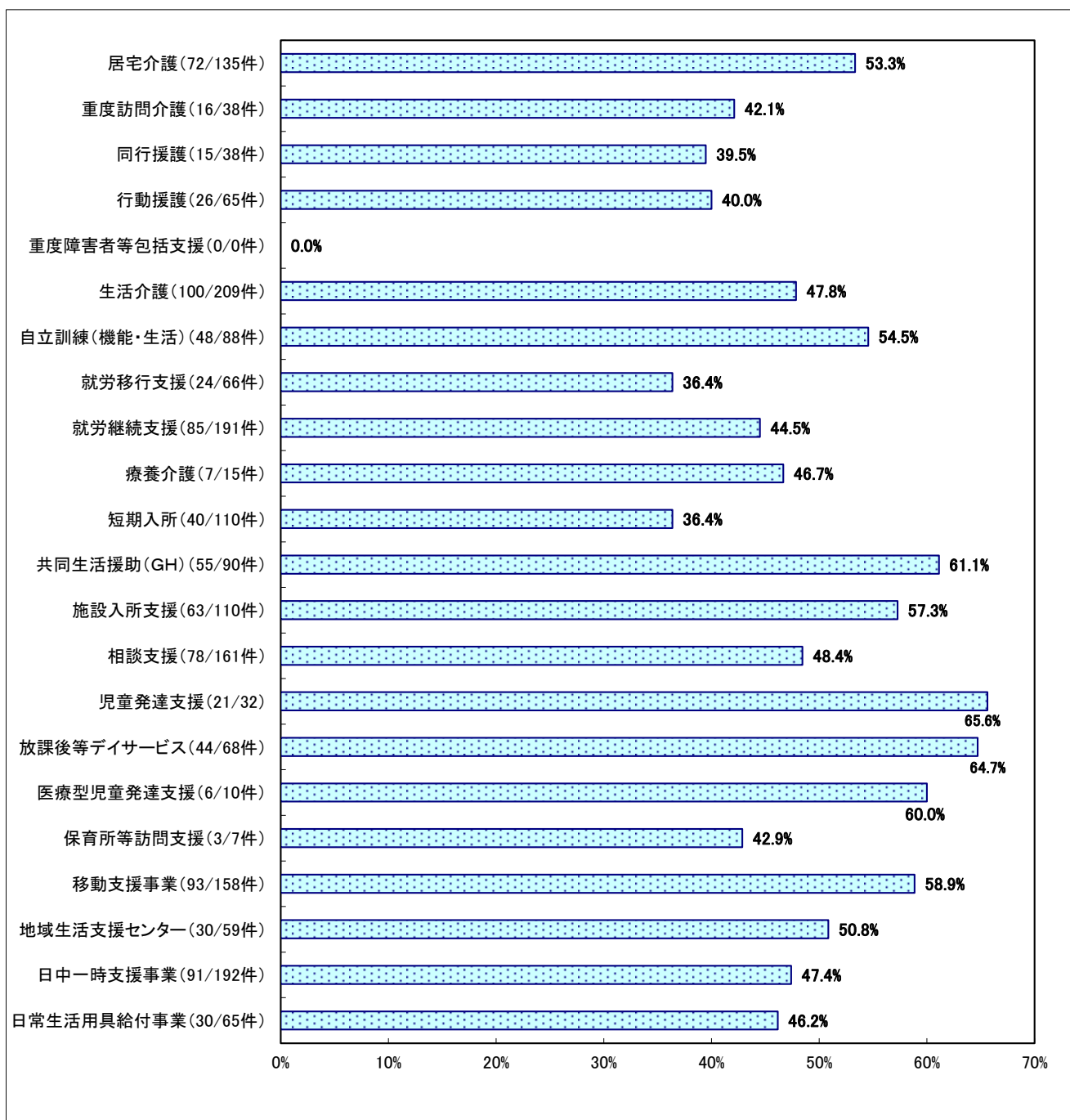
→「福祉に関するさまざまな相談機能を充実してほしい」(40.3%)が最も高く、次いで「サービスの利用について、申請や手続き方法を分かりやすくしてほしい」(39.7%)となっている。



○現在利用している障がい福祉サービスなどについて、満足度をお答えください。

(グラフは、「満足」または「やや満足」と回答した割合)

→「児童発達支援」(65.6%)、「放課後等デイサービス」(64.7%)など障がい児を対象としたサービスの満足度が高い。また、「共同生活援助(グループホーム)」(61.1%)、施設入所支援(57.3%)などの居住系サービスの満足度が高く、「就労移行支援」(36.4%)、「短期入所」(36.4%)などの満足度が低くなっている。

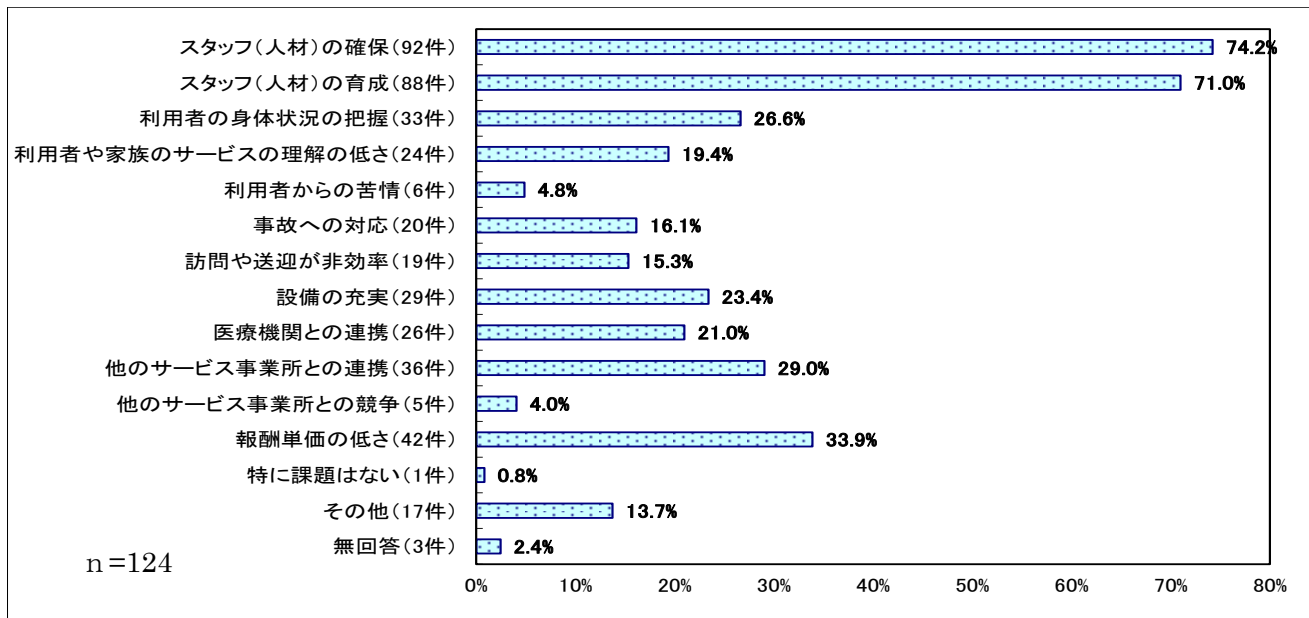


(2) 障がい福祉サービス等提供事業所向けアンケート

ア 事業運営

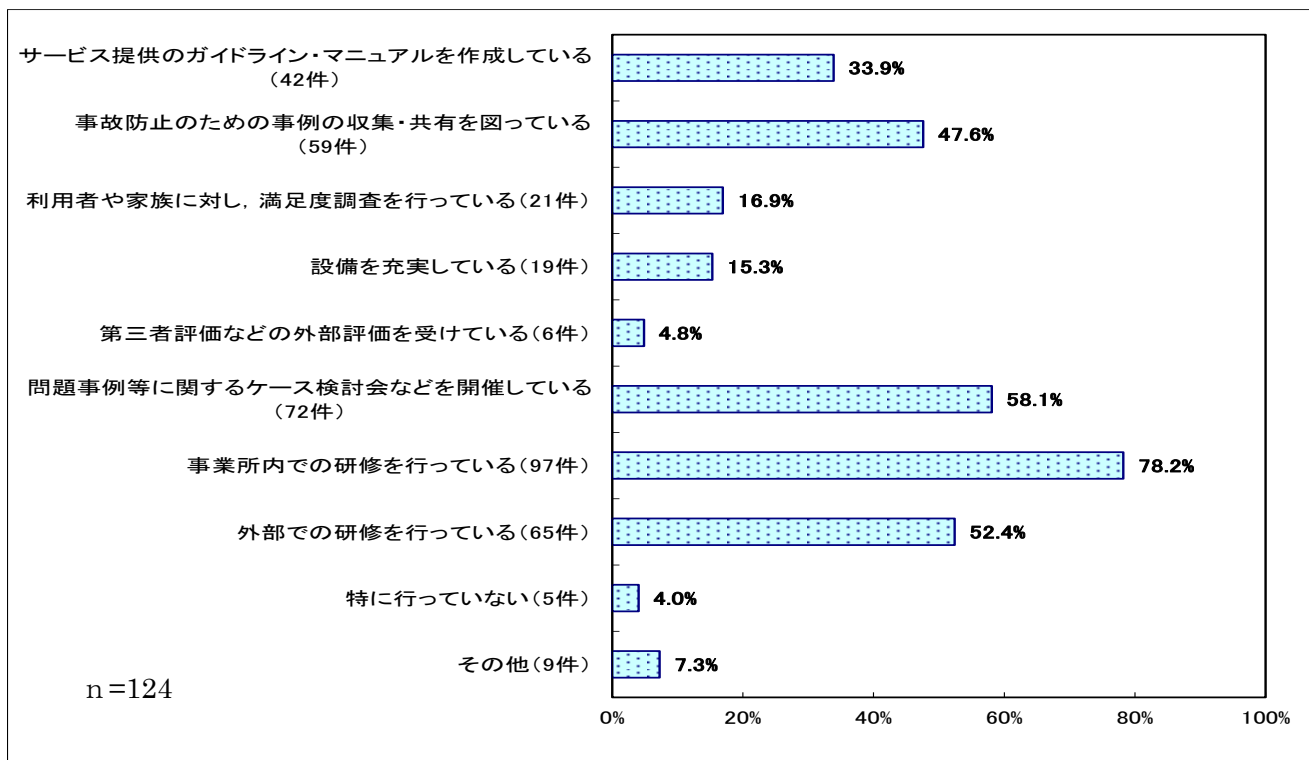
○事業を運営する上で、どのようなことが課題であると考えていますか。(複数回答可)

→「スタッフ(人材)の確保」(74.2%)が最も高く、次いで「スタッフ(人材)の育成」(71.0%)となっている。



○サービスの質の向上のために、どのようなことを実施していますか。(複数回答可)

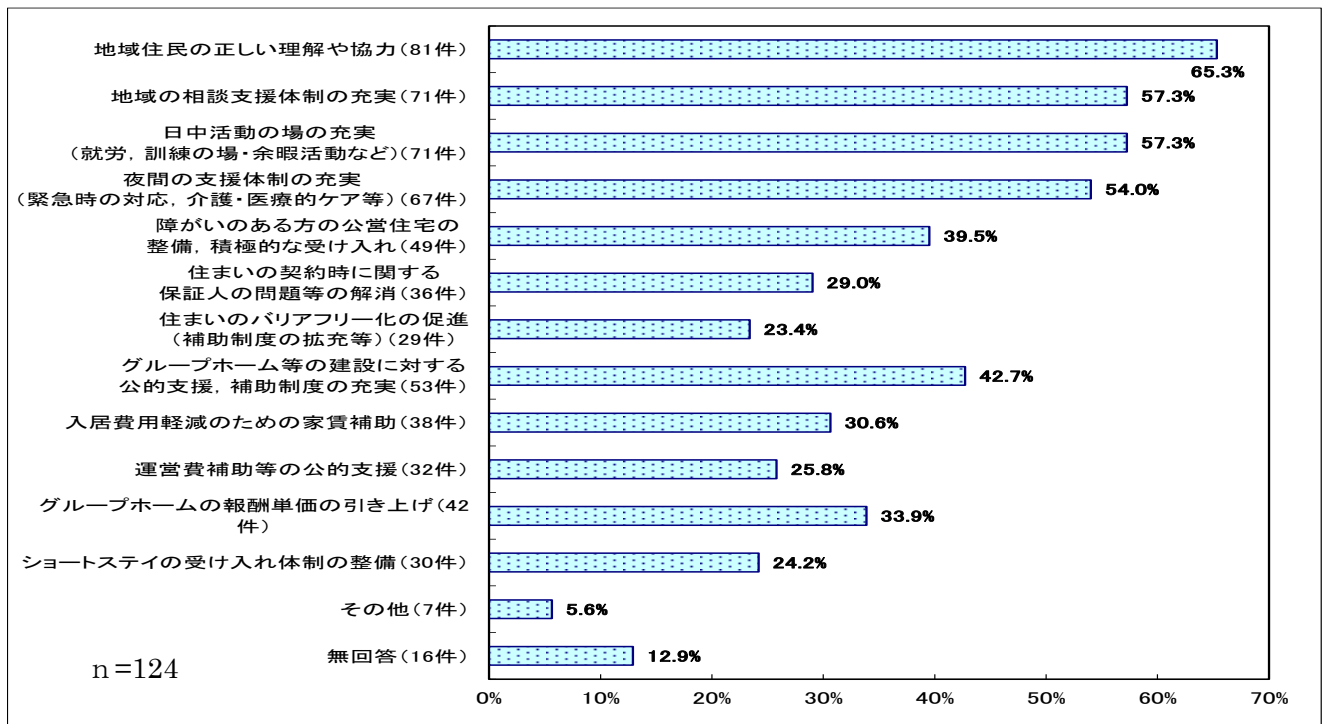
→「事業所内での研修を行っている」(78.2%)が最も高く、次いで「問題事例等に関するケース検討会などを開催している」(58.1%)となっている。



イ 福祉施設入所者の地域生活への移行

○施設入所者の地域生活への移行にあたって必要だと思うことは何ですか。(複数回答可)

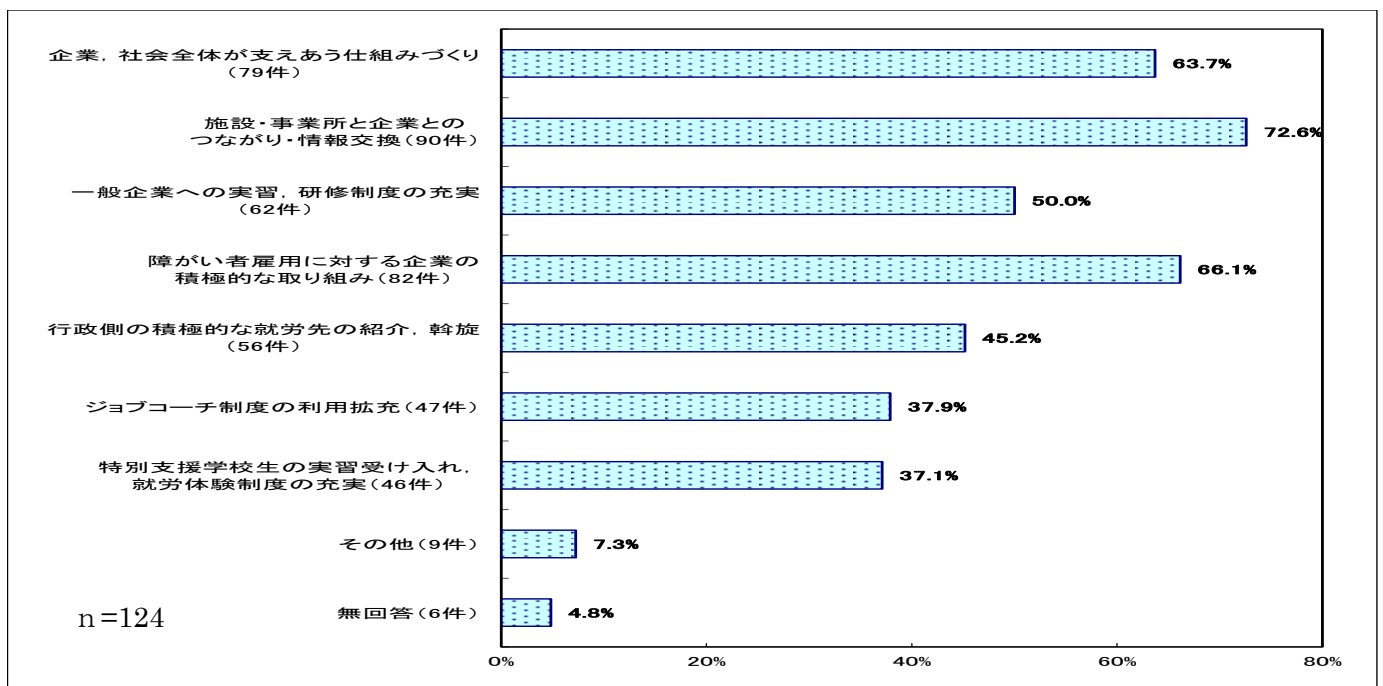
→「地域住民の正しい理解や協力」(65.3%)が最も高く、次いで「地域の相談支援体制の充実」(57.3%)、「日中活動の場の充実(就労, 訓練の場・余暇活動など)」(57.3%)となっている。



ウ 福祉施設から一般就労への移行

○障がいのある方が就労するために必要なことは何ですか。(複数回答可)

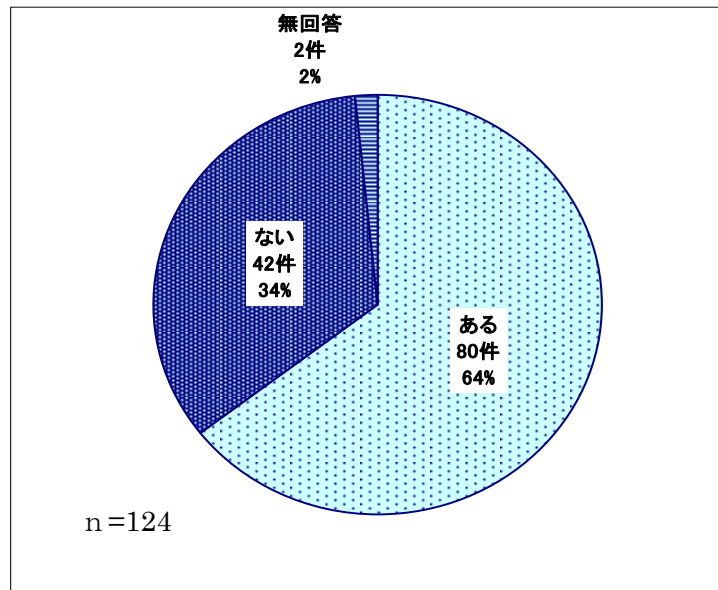
→「施設・事業所と企業とのつながり・情報交換」(72.6%)が最も高く、次いで「障がい者雇用に対する企業の積極的な取り組み」(66.1%)となっている。



エ 障がい福祉サービス

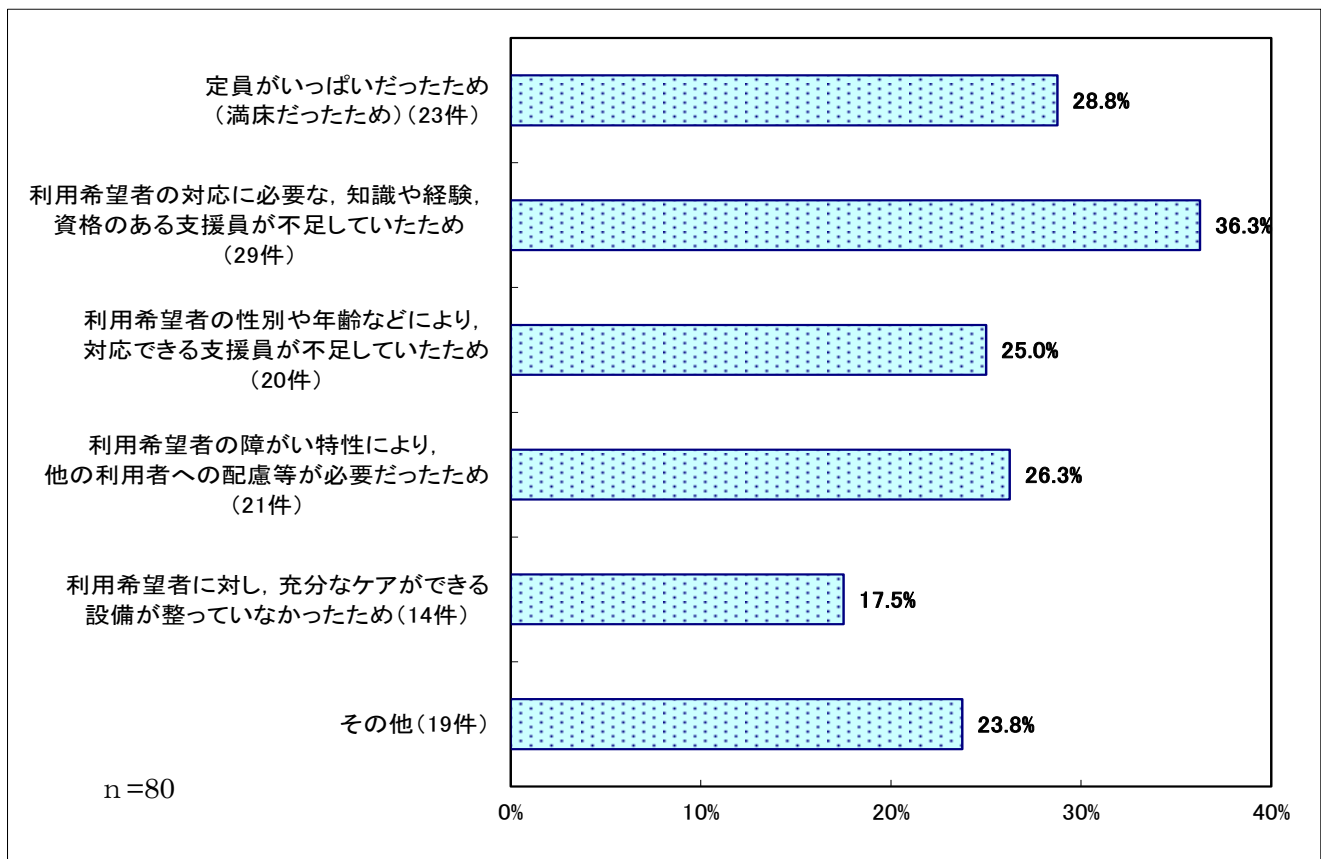
○障がい者のサービス利用の希望に対し、受け入れできなかったことがありますか。

→「ある」が64.5%、「ない」が33.9%となっている。



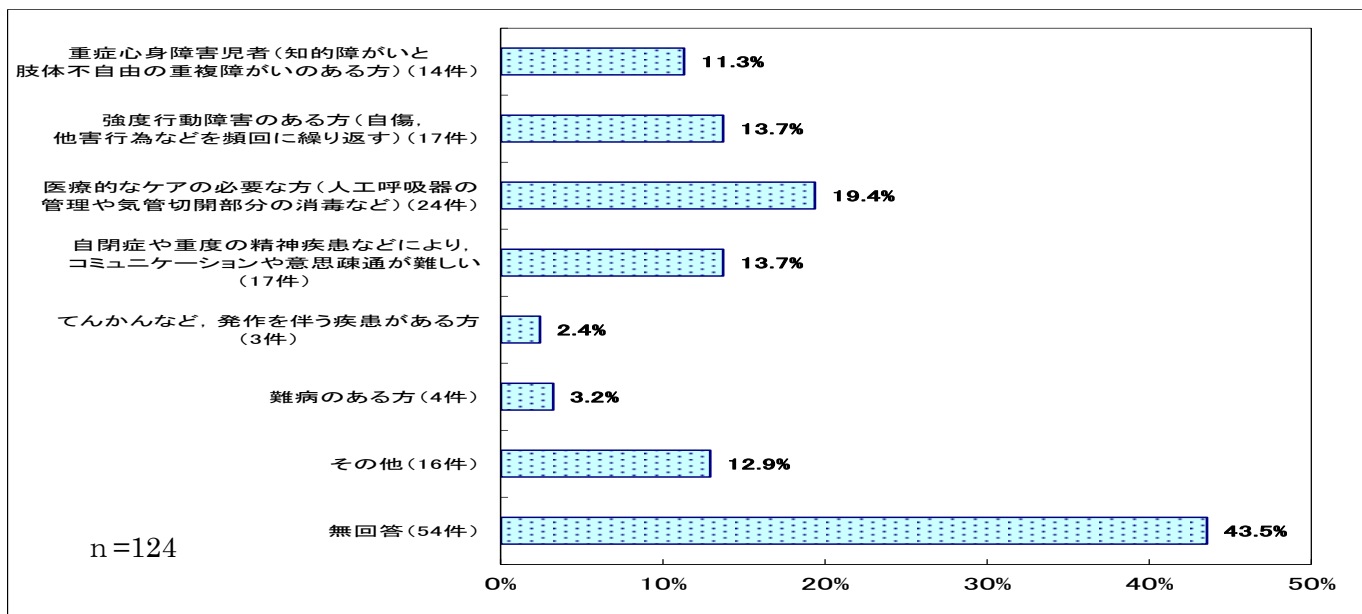
○利用者の受け入れができなかった理由はどのようなものですか。(複数回答可)

→「利用希望者の対応に必要な、知識や経験、資格のある支援員が不足していたため」(36.3%)が最も高く、次いで「定員がいっぱいだったため(満床だったため)」(28.8%)となっている。



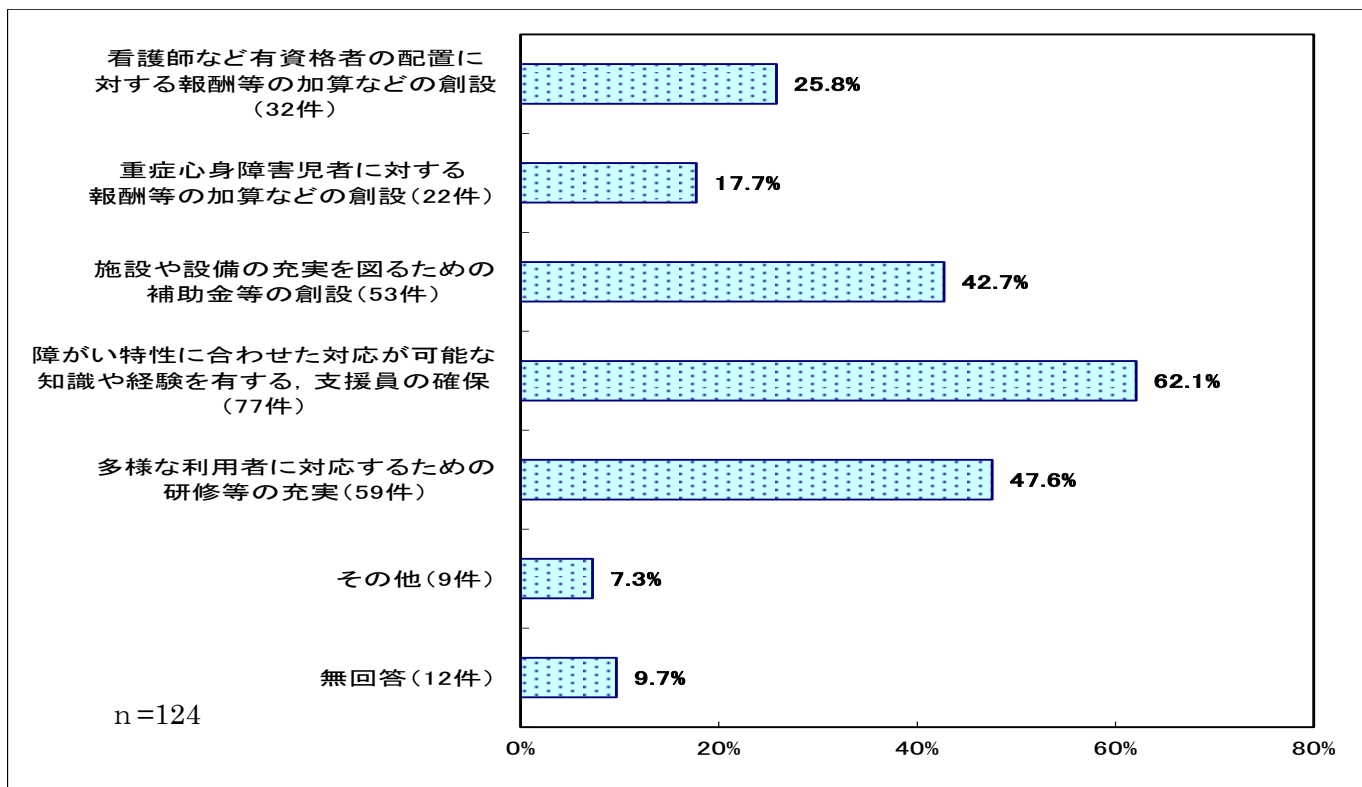
○受け入れを断った障がい者の方は、どのような方でしたか。(複数回答可)

→「医療的なケアの必要な方(例:人工呼吸器の管理や気管切開部分の消毒など)」(19.4%)が最も高く、次いで「強度行動障害のある方(自傷,他害行為などを頻回に繰り返す)」(13.7%),「自閉症や重度の精神疾患などにより,コミュニケーションや意思疎通が難しい」(13.7%)となっている。



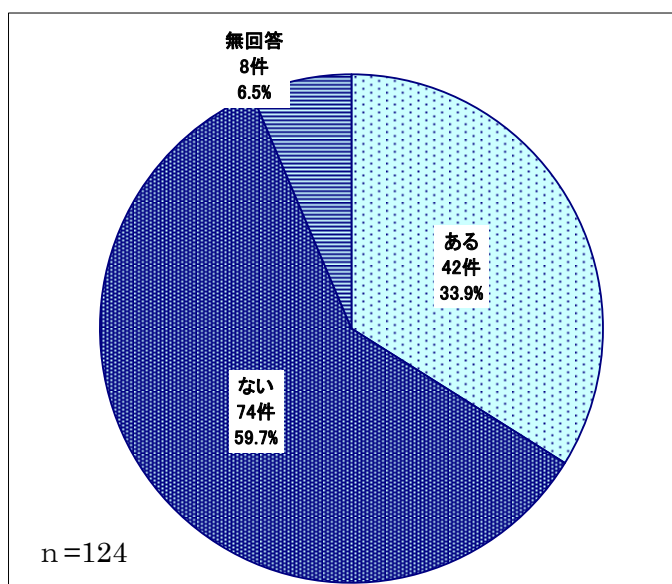
○利用希望に可能な限り対応するため,今後どのような点を充実すれば良いと思いますか。(複数回答可)

→「障がい特性に合わせた対応が可能な知識や経験を有する,支援員の確保」(62.1%)が最も高く、次いで「多様な利用者に対応するための研修等の充実」(47.6%)となっている。



○今後、貴事業所において、定員の増や施設の拡大など、提供するサービスを拡充する予定がありますか。

→「ある」が33.9%であり、そのうち「施設を増設または新設する」が高い。また、「ない」が59.7%であり、そのうち「希望はあるが、サービスの拡充に対応できる人材の確保が難しい」が高い。



	カテゴリ	件数	全体 (%)
1	ある	42	33.9
	① 現在提供しているサービスの定員を増員する	14	11.3
	② 新たにサービス提供を開始する	9	7.3
	③ 施設を増設または新設する	16	12.9
	④ 現在の施設でスタッフを拡充する	8	6.5
	⑤ その他	4	3.2
2	ない	74	59.7
	① 希望はあるが、事業の拡充に対応する資金がない	3	10.5
	② 希望はあるが、事業所を設置する用地がない	6	4.8
	③ 希望はあるが、既存の施設や設備では、事業を拡大できない	8	6.5
	④ 希望はあるが、サービスの拡充に対応できない	27	21.8
	⑤ 希望も予定もない	15	12.1
	⑥ その他	13	10.5
	無回答	8	6.5
	合計	124	100.0